

事務事業名	一時借入金金利		所属部局	総合政策部	単位番号	2061				
			所属課室	財政行政課	課長名	増山希世彦				
			所属担当	財政担当	担当者名	内田 淳				
基本政策	基本計画	77 元利償還	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	77 元利償還		事業区分	01	一般	12	01	02	030	01
施策	77 元利償還			<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業					
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
法令根拠			地方自治法、南アルプス市財務規則							
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 年度途中に生じる歳計現金の不足に充当するために借り入れる一時借入金に係る利息の支払い。借入の際は、市中金融機関に利率照会をおこない、低利率の借入先を選定する。また基金の繰替運用を行う際の、定期預金金利の補填を行う。	事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)			項目(細節)		金額(千円)	項目(細節)		金額(千円)	
	一時借入金金利					107				
							計		107	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	H26年度は市の基金の振替運用により対応した。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
	27年度活動予定	限度額2,500,000千円の範囲内で一時借入を行う。			ア一時借入予定額	千円	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	一時借入金の利率		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	低利率で短期間の借入を行うことにより借入利息を抑える。		⇒		ア借入決定利率	%	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	資金を円滑に運用する。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア借入利息	円	
					イ	円	
					⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			⇒		ア借入金額	円	
					イ	円	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	171	92	107	3,535	3,535	3,535	
	人件費	事業費計(A)	千円	171	92	107	3,535	3,535	3,535	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	8	8	8	8	8	8	
		人件費計(B)	千円	36	36	36	36	36	36	0
		(A)+(B)	千円	207	128	143	3,571	3,571	3,571	0
活動指標	アイウ	千円	2,500,000.0	2,500,000.0	2,500,000.0	2,500,000.0	2,500,000.0	2,500,000.0		
対象指標	アイウ	%	0.0	0.3	0.0	0.4	0.4	0.4		
成果指標	アイウ	円	170,404.0	91,779.0	60,616.0	3,535,000.0	3,535,000.0	3,535,000.0		
上位成果指標	アイ	円	0.0	2,000,000,000.0	0.0	2,500,000,000.0	2,500,000,000.0	2,500,000,000.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	地方自治法に基づき、本市発足時から開始している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	15,16年度は合併補助金等による円滑な資金運用ができていたため借入額が少なかったが、17年度からは20億円の借入をおこなっている。利率については20年度からは低利率となっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	金融機関からの借入利息と基金の定期預金利息を計算し、金融機関からの一時借入か、基金からの繰替運用かを判断している。また、一時借入を行う際も、市内の金融機関に借入利率の照会をおこない、低利な金融機関から借入れるとともに、借入期間についてもできる限り短く設定している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	金融機関から借入は行わず、財政調整基金の繰替運用で対応した。

事務事業名	一時借入金利子	所属部	総合政策部	所属課	財政行革課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 一時借入金を低利で借入れることは、実質公債費比率の低比率につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の会計上の事務であり、他へ任せることはできない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 年度末などに一時的に現金が不足する場合があります、この業務は必要である。見直しの余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 一時的な資金不足は、基金の繰替え運用としているため、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 休止・廃止した場合は、年度末などの一時的な現金不足に財政運営に支障をきたすため、対応できない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在の手順を見直す余地はない。 県補助金の早期支払いも県に要望済みである。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 できる限りこの業務に従事する時間を削減している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 利率照会を行い借入先を決定しているため公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	26年度末は基金の振替運用により対応したため金融機関からの一時借入れは行わなかった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					